第11回日本母性看護学会セミナー

一般社団法人 Japan Society of Maternity Nursing JSMN 日本母性看護学会

周産期・育児期の糖代謝異常に強い看護職育成セミナー

周産期・育児期に糖代謝異常状態にある妊産褥婦が増加しています。しかし、適切な支援が届いていない現状があります。妊娠糖尿病既往女性のその後の2型糖尿病（DM）発症率は、正常な女性の7.43倍です。さらに、出産年代の高齢化から、妊娠・出産前後に2型DMを発症する可能性は高いといえます。一方で、長期間の母乳育児は、児の将来の肥満や生活習慣病を予防すると同時に、女性自身の糖代謝も改善し、将来のDM発症を予防することが明らかになってきています。周産期・育児期に糖代謝異常のリスクに対して適切に支援することは、女性の一生涯の健康を支援するものとなります。

本セミナーは、周産期・育児期を専門とする看護職が、この時期の糖代謝異常に関わる科学的に正しい情報を獲得し、適切に支援できることを目的に開催します。

【対象者】 テーマに関心を持つ看護職（助産師、看護師、保健師）
【場　所】 大阪府立大学　I-siteなんば C-2,3　www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/map/
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル
【参加費】 5,000円（会員）、10,000円（非会員）
※一度入金された参加費は返金いたしかねますのでご了承ください。
※2日間受講された方に、受講証明書を発行します。
【定　員】 50名程度（事前登録のみ）
【申込方法】オンライン受付のため、下記のURLよりログインして登録ください。
オンライン参加登録システム：
https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/apply/JSMN
学会HP掲載のセミナーのご案内からもご利用になれます。
参加費の納入確認をもちまして参加登録完了とさせていただきます。
【応募期間】平成28年9月5日（月）12時～平成28年9月30日（金）17時まで

11月5日（土）：1日目		11月6日（日）：2日目	
10:00～12:00	周産期の糖代謝異常の診断と治療　講師：杉山　隆	10:00～11:30	糖代謝異常妊産褥婦への看護支援の基本 –産後の支援を中心に–　講師：成田　伸
		11:40～12:00	自施設におけるGDM妊産褥婦支援の現状と課題（ディスカッション）　ファシリテーター：工藤、山田
13:00～15:00	糖尿病と妊娠期の糖代謝状態の基礎知識　講師：成田　伸	13:00～14:30	糖代謝異常妊産褥婦への看護支援の実際①（妊婦と産婦）　講師：高橋久子
15:20～17:00	糖代謝異常妊産褥婦の食事と運動とインスリン　講師：成田　伸	15:00～16:30	糖代謝異常妊産褥婦への看護支援の実際②（褥婦と新生児）　講師：高橋久子
		16:30～17:00	まとめ

※2日目の昼食時間と午後の休憩の時間を使って、食前・食後の自己血糖測定、HbA1c測定が体験できます。

【講　師】 **杉山 隆**（愛媛大学大学院医学系研究科産科婦人科学教授・産婦人科医師）
高橋 久子（杏林大学医学部付属病院　助産師・糖尿病看護認定看護師）
成田 伸（自治医科大学看護学部教授）
【ファシリテーター】工藤里香（京都橘大学）、山田加奈子（大阪府立大学）

主催：　一般社団法人日本母性看護学会
問い合わせ先：　戦略的プロジェクト担当理事　成田　伸　（snarita@jichi.ac.jp）